維新・みんな 共闘崩壊

問題発言・西村氏除名へ

日本維新の会の橋下徹共同代表(大阪市長)の従軍慰安婦をめぐる発言をきっかけにした混乱に拍車が掛かっている。維新の西村真悟衆院議員=比例近畿=は17日、「日本には韓国人の売春婦がうようよいる」と発言。党は除籍(除名)処分にする方向だが、内外から一層の批判を浴びる事態を招いた。みんなの党の渡辺喜美代表は夏の参院選に向けた共通公約の策定協議を凍結すると表明。維新が目指す共闘も崩壊状態に陥った。(2面参照)

西村氏は17日の党代議士会で「日本には韓国人の売春婦がうようよいる。反撃に転じた方がよい。私は今日、大阪に帰るが、『おまえ、韓国人、慰安婦やろ』と言ってやったらいい。皆さん、戦いましょう」と発言した。

西村氏は「不穏当だった」と発言を撤回したが、火消しはできず、離党届と会派離脱届を提出する事態に追い込まれた。維新は同日、西村氏の会派離脱だけを衆院に出したが、離党届は受理せずに除籍処分とする方向だ。

西村氏の発言は橋下氏を擁護する意図があったが、橋下氏は17日、大阪市内で記者団に「大変申し訳なく思う。候補者を見る目がなかった」と話し、昨年の衆院選で西村氏を擁立したことも含め謝罪。「(自分の発言と)まったく違う。僕は韓国の方や元慰安婦の方を侮辱するつもりはまったくない」とも述べた。松井一郎幹事長(大阪府知事)も議員辞職を求める考えを示した。

一方、みんなの党の渡辺氏は同日、記者会見で維新との政策協議を凍結する意向を示し「凍結解除されない場合、選挙協力はご破算になる」と発言。維新候補への対抗馬擁立を検討する考えまで示した。浅尾慶一郎政調会長は維新の浅田均政調会長(大阪府議会議長)に、性風俗業の活用を在沖米軍に勧めた橋下氏の発言の撤回などを文書で求めた。

みんなが維新と距離を置く動きを鮮明にしたのは、橋下氏の発言が「国際問題」に発展したことが大きく、「参院選を一緒に戦えば、共倒れしかねない」との懸念が現実味を帯びてきたためだ。これに西村氏の問題発言が続き、自民党幹部が「維新の会は統制が取れなくなっている」と話すなど先行きを危ぶむ見方が強まっている。【木

動 2013

西村氏発言

官房長官「非常に残念 論評に値しない」

「非常に残念で論評に値しない発言」

17日夕、首相官邸。日本維新の会の西村真悟衆院議員の問題発言を問われた菅義偉(すがよしひで)官房長官は記者会見でよどみなく答えた。

ここ数日、官房長官会見は「ノーコメント」のオンパレード。従軍慰安婦をめぐる維新の橋下徹共同代表(大阪市長)の発言に関しては「コメントする立場にない」、飯島勲内閣官房参与の北朝鮮訪問では「控えさせていただく」と頬かむりを決め込んできたが、この日は少し吹っ切れた様子もうかがえた。

「参院選が終わった上でじゃないと、じゃないですか。(参院選の結果)議席配分がどうなるか分からないし……」

改憲に積極姿勢を示す維新、みんなの党との連携を問われた菅氏はこう答え、「改憲勢力で3分の2結集」との路線の見直しをにおわせた。

安倍晋三首相はこの日、月刊誌「Voice」の取材を受けた。担当した篠原文也氏によると、参院選後の政権の枠組みについて「公明党と政権与党を維持していく。維新、みんなとは憲法改正があるが、一緒に組むことはない」と答えたという。

首相「元慰安婦に申し訳ない」

07年日米首脳会談 当時の発言認める

政府は17日の閣議で、安倍晋三首相が第1次内閣当時の2007年4月、米ワシントン郊外のキャンプデービッドでブッシュ米大統領(当時)と首脳会談を行った際、従軍慰安婦問題について「元慰安婦の方々に、首相として心から同情し、申し訳ないという気持ちでいっぱいだ」と発言したとの答弁書を決定した。

民主党の辻元清美衆院議員が提出した質問主意書に答えた。

辻元氏は3月の衆院予算委員会で、安倍首相とブッシュ米大統領の首脳会談について「ブッシュ大統領が『首相から釈明があった』と発言した」と指摘。首相はその際、「この問題は全く出ていない」と全面否定したが、一転して答弁書で事実関係を認めた。【村尾哲】

水陸両用部隊

自民党は17日の国防部会・安全保障調査会の合同部会で、「敵基地攻撃能力」の保持を検討するよう求めるな

自民が

■与謝野氏が復党願、自民

自民党が、3年前に除名

党に参加。自民党は除名処

11年1月には菅直人首相(

めで経済財政担当相として

(いんとう)がんを患った

の衆院選には立候補せず、

■政府が経協インフラ戦略

政府は17日、日本企業の政府の経済協力について議協インフラ戦略会議」(議官房長官)を首相官邸で開の医療サービスの導入支援上国の人々の健康増進に貢際保健外交戦略」を外交の

0010年4月、旧たちあが

ことが分かった。石破茂幹

の記者会見で、与謝野氏が

提出を受けたと明らかにし

いて「いろいろな反省も込

れている」と説明した。与

属した党東京都連の意向を

で近く党紀委員会で正式に

を協議する。

与謝野氏は、自民党が野

の連携も模索する渡辺氏との対立が続いてきた。従軍慰安婦をめぐる橋下氏の発言を契機に渡辺氏優勢に大きく傾き、西村氏の問題発言で内紛状態にピリオドが打たれた格好だ。

渡辺氏は、民主党からの秋波が強まるので